

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 30 日 作成

事務事業名	生きがいデイサービス事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連
総合計画 体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	健康福祉部	課長名 後藤博康
	施策	16	高齢者・障がい者の自立促進と社会参加		所属課	高齢者支援課	担当者名 佐藤里佳
	基本事業	49	高齢者の介護予防の充実		所属班	高齢者保険班	(内線) 2114
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果 8 コスト削減優先度評価結果 —
	30	11	3	1	10471		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 12 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							
【事業の内容】 家に閉じこもりがちな概ね65歳以上の高齢者に対し、通所の方法により、日常動作訓練等のサービスを提供し、自立生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の向上を図る。みどり館で生活指導、日常動作訓練、健康チェック、給食サービス等を行う。							
【業務の流れ】 サービス利用申請書を提出し、実態調査を行い地域ケア会議において審査し、利用の可否を決定する。事業は社会福祉協議会に委託。							
【主な予算費目】 委託料							

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 社会福祉協議会が高齢者を対象に生活指導、日常動作訓練、入浴サービス等の事業に対する委託料。利用回数計4461回。利用者99名。	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 20年度までは2箇所で行っていたが、21年度より1箇所で行い、入浴サービスを事業内容からはずした。
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 家に閉じこもりがちな概ね65歳以上の高齢者	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア デイサービスの開催数 回 イ デイサービスの延べ参加者数 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 自立生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上を図る。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 要介護認定を受けていない高齢者 人 イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 健康である。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア デイサービス参加者数 人 イ
	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 高齢者に占める特定高齢者の割合 % イ

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円				3,019	3,019	3,019	総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載) 0 0 0
		都道府県支出金	千円				1,510	1,510	1,510	
		地方債	千円							
		その他	千円				6,039	6,039	6,039	
		繰入金	千円	18,081	14,722	7,920	11,009	1,510	1,510	
	一般財源	千円								
	(A) 事業費計	千円	18,081	14,722	7,920	11,009	12,078	12,078	12,078	
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費	正規職員従事人数	人	2	4	4	4	4	4	
	延べ業務時間	時間	76	155	155	244	155	155	155	
	(B)人件費計	千円	302	617	971	617	617	617	617	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	18,383	15,339	8,537	11,980	12,695	12,695	12,695	
	活動指標	ア 回 イ 人	423 1392	430 1545	430 1545	426 3338	430 1545	430 1545	430 1545	目 標 合 計 値 画 22 年 度
	対象指標	ア 人 イ	8631	8842	8675	8465	8600	8725	8800	
	成果指標	ア 人 イ		132	70	94	80	80	80	
	上位成果指標	ア % イ	0.4	4.96	3	4.5	3	3	3	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
平成12年介護保険制度が始まり、介護認定非該当の高齢者がデイサービスを受けられなくなったことにより開始した。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
閉じこもりや社会的孤独感をもつ高齢者へと対象者を変えてきた。
特定高齢者と思われる方も約半数程度は含まれており、国が定める通所型介護予防事業である運動・栄養・口腔の機能向上事業を新たに追加することにより、更なる介護予防効果を高めることができ、また、地域支援事業交付金の交付対象となることから、現在の生きがいデイサービス事業の一部を転換する。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
利用者からは、生きがいデイサービスに行くことを楽しみにしている。また、新しく知り合いが増えたと喜ばれている。
平成19年度から個人負担額を要支援1の負担額と同等にしたが、特に利用者からの問い合わせはなかった。

事務事業名	生きがいデイサービス事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	--------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 意図の自立生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上を図ることによって、結果の健康であるに結びつく
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 要介護認定者になるのを予防するためには、市が事業を行う必要がある。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象・意図とも適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 事業の内容を充実することによって、成果の向上余地はあると思われる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 事業を休止した場合、介護認定者がいっきに増加する可能性がある。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 他に類似事業がないため。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 介護保険制度に準じて一部負担金を徴収しているため。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 利用の決定等以外は社会福祉協議会に事業を委託しており削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ ケア会議で決定の可否を審査しており、公平・公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、…。 ②有効性については、…。 ③効率性については、…。 ④公平性については、…。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)…複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持 低下			
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上		○															
	維持 低下																	

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	2	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	5	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)